

令和5年度 東京都立立川国際中等教育学校 教科指導の基本方針と重点

1 全体の基本方針

- ① 定期考査・模試の分析データに基づき、組織的な学習指導及び進路指導を目指す。また、授業評価アンケートの結果をいかして授業改善を図り、計画的・系統的な学力向上策に組織的に取り組む。授業における「振り返り」を重視し、解答への思考へアプローチする発問を工夫し、生徒の思考力、判断力、表現力を育む。
- ② 外国語科（英語）・数学科で習熟度別授業を行うとともに、すべての教科・科目で補習・講習を適切に設定する。
- ③ 国語力を高めるために朝読書に取り組み、言語活動を充実させる。
- ④ GE-NET20の指定校として、留学生の受入れや意見交換等、外国の生徒等との交流をとおして、自己の確立や国際社会の一員としての自覚を促す活動を充実させる。そのために、英語活用能力の向上を図る。
- ⑤ 理数教科の学びを強化する。理科においては実験を通じて、課題設定、検証、実験、結果分析・考察等の論理的思考力を高める。
- ⑥ 生徒がGIGA 端末・スマートスクール端末を活用する授業展開を工夫し、個別最適化を図るとともに、生徒のICT活用能力を向上させる。
- ⑦ 探究活動の充実を図る。探究活動と教科・科目の学習が往還するよう、教科・科目の単元配列等を工夫し、教科・科目が能動的に探究的な学びの学習に絡むよう工夫する。研究成果を論文にまとめ、発表活動などをとおしてプレゼンテーション能力の向上を図る。最終的には、第5学年で英語での論文作成できるように段階的に指導する。

2 各教科の到達目標（重点課題・取組・発展的取組）

国語	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
社会	社会科の見方・考え方を働かせ、必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象や歴史的事実、世界の生活文化の多用性などを基に、それらが日本及び世界の情勢とつながっていることを理解する。 (2) 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現することができる。 (3) よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解をとおして、地理・歴史・公民科目を学ぶ意義や目的、考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

数学	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動をとおして、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
理科	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをとおして、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
保健体育	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
芸術	<p>表現・鑑賞等の芸術活動をとおして、芸術を味わい表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 芸術活動の楽しさを探究することをとおして、芸術への興味・関心を高め、芸術によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって芸術に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>(2) 多様な芸術表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。</p> <p>(3) 多様な芸術に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</p>
技術・家庭	<p>生活の営みに関する見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動をとおして、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活と技術についての、基礎的な理解を図るとともに、それらに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

情報	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動をとおして、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>
外国語	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動をとおして、情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>